



HOUSE OF JOY

～見える行動で見えない愛を表現したい～



無償の愛

ハウスオブジョイの子供達は自分達の親のことが大好きだ。たとえ幼児虐待で入所して来てもお母さんや兄妹の夢を見る。家族のために何かをしたい。また年頃の子は卒業後にすぐに人を好きになる。何も打算的に物事を考えない。

日本人の私たちから見れば、そんな親のこと忘れてしまえ、とか、そんな仕事もない男やいい加減な奴を好きになるな、とか、いろいろと小言を言いたいが。

これが無償の愛ではなかろうか。自分の利益を考えずただ相手の幸せを願い生きる無邪気な表情の子供達の幸せを祈りつつ、日本で応援してくださる大勢の、無償の愛をくださる方々に感謝とお願いを申し上げます。ありがとうございます。

日本であなたは自分の両親や兄妹を愛していますか？

烏山 逸雄（HOJ 代表）

2015 年後半の訪問者

世界で大変な事件が続き、外国への渡航が危ぶまれた時期でしたが、そんな中でも来てくれたみなさんに本当に感謝です！いつも来てくれている常連の大学や教会のみなさんはもちろん、まさかと思うような人のつながりで HOJ を知って来てくれた人の多さに感動しています。また、子連れで HOJ に来ることが定着してきた感があってとても嬉しいです！

オクムラさん一家、ユウキさん、ユウマさん、スギウラさん、パルさん、イトウさん、カナコさん、アキオさん、アベさん、イシイ先生、ヤマナカ先生、イヌイさん、関西大のみなさん、ジンさん一家、アテユキさん、ハルカさん、ユカさん、金沢星稜大のみなさん、関西大久保田ゼミのみなさん、ハラアヤカさん、井澤さん一家、ヨシさん、キノシタさん&カントク、アシピーさん、ユウヤさん、日高さん御一行、リョウコさん、山口さん一家、サヤカさん、ミワコさん、ユウヘイさん、アッキーさん、清水さん一家、トモフミさん、ヤマネ神父さんと洗足教会のみなさん、一道さん御一行



ハウスオブジョイは訪問者を歓迎しています！日本を朝出発すれば、その日のうちにハウスオブジョイに到着できます。宿泊施設つきなので、短い滞在でも子どもたちとたくさん時間を過ごせます。一泊食事付きで1300 ペソです(学生は1000 ペソ)。滞在費が運営費になります。2015 年には約70 万ペソの収入があり、これは HOJ 全体の収入の約3~4 割を占めます。みなさんが遊びに来てくれるおかげで、HOJ の運営は成り立っています！

時期にもよりますが、ダバオまでの航空券は3万円~7万円くらいです。土日は子どもたちと一緒に海や川で遊べます。サンゴ礁や滝などもありますよ！詳細はメールください！ sawamura@hoj.jp

HOJ オリジナルジープ・プロジェクト



1999 年に日本大使館から寄付してもらったハイエースが、**16 年間**走り続け、ついに走行距離 **100 万キロ**を超え、限界に近づいてきました。もう押さないとエンジンもかかりません。



薪ひろいや、親族探し、みんなで遠足に行くのにも「大勢で乗れる車」は必需品です。そこで、ブログ上で資金提供者を募り、資金が集まれば新しくジープを買う、ということにしました！



ネット上に記事を書いて 3 日で、予定していた最低目標額の 20 万円を突破！その後、日本各地での講演の際にも呼びかけた結果、ジープ購入資金 50 万円を超えて、**66 万円**が集まりました！これで修理と改造資金にも十分です！町で一番「頑丈で」「大勢乗れて」「壊れても直しやすい」ジープを選んでさっそく購入しました！

誰よりも喜んでいるのが運転手のドンさんです。前の車は毎日走る前と走った後で 1 時間くらいずつメンテナンスが必要でしたからね…。



今回のプロジェクトは単なる「購入」ではなく、「オリジナルデザインのジープを作ろう！」という企画です。こどもたちが色のデザインを考えて、スポンサーになってくれた方々の投票で候補をしばって、HOJらしいジープを作りたいと思っています。
さっそくデザインを考えたロウィー。さすが、かっこいいですね。



他の子たちもたくさんのデザインを出してくれています。みんな色とりどりのアイデアを出してくれて、ひとつに選ぶのがもったいないくらいです。年明けには候補デザインを決めて、塗装作業に入る予定です。
スポンサーのみなさんの名前や団体名も入れますので楽しみに！



前の車もそうでしたが、車は買ってからの維持にお金がかかります。そういうわけで、ジープ自体は買いましたが、引き続き、このジープのスポンサーは募集したいと思います。一口一万円です。スポンサーになってくれる方は sawamura@hoj.jp までご連絡の上、以下口座に振り込みお願いします！

新生銀行 上野支店(540)

普通口座 0333383 澤村 信哉

ロジャー×コウスケ ダンスプロジェクト



0歳の頃からHOJで育ってきたロジャー。歩けるようになる前から踊っていた伝説を持つロジャーは、その後、ものすごい運動神経の持ち主になり、学校のサッカー代表に選ばれたり、ダンスリーダーに選ばれたり、その才能を開花させていきました。



そんなロジャーもついに18歳！HOJを卒業する時がやってきました。将来の夢は「ダンサーになって日本公演をすること」ですが、すぐにダンサーとして食べていけるほど世の中は甘くありません。まずは、卒業生のウィリアムやジョネルが働かせてもらっているマンゴーの加工工場に就職し、そこからダンス大会などに出て夢の実現を目指していく、ということになりました。

しかしそれには問題がありました。ウィリアムやジョネルと違って、ロジャーには工場のあるダバオに、一緒に暮らせる親族がないので、1人暮らしをしなければならぬのです。でも、就職しても最初の数ヶ月は研修期間なので、その収入だけで慣れない1人暮らしをするのはかなり困難です…。

そこで、「夢をかなえるため」と「自立するため」の二つの理由から、本格的なダンス動画を作って有料配信してお金を集める！というプロジェクトを立ち上げました。日本でプロダンサーを目指して活動している田中コウスケさんを招聘して、1ヶ月間、毎日猛特訓をするようになりました。

好きなことに打ち込むことの幸せを感じ、得意なことで人を喜ばせることの喜びを知り、そのためにはやっぱり努力が欠かせないこと、一緒に踊るには信頼関係が技術以上に大事なことを学び、2人は大きく成長しました。



完成したダンス動画はこちらのサイトからご覧いただけます。

<http://hoj.jp/index.php/project/>
動画視聴には500円かかりますが、そのお金が、ロジャーの自立資金になりますのでみなさんご協力よろしくお願いします！



夢に向かって努力する2人の姿は、周りの子たちにも確実に勇気を与えています。このプロジェクトの後から「将来の夢」を恥ずかしがらずに口に出すことがこどもたちの間で当たり前になりました。みんなの夢の実現にできるだけ協力したいと思います！

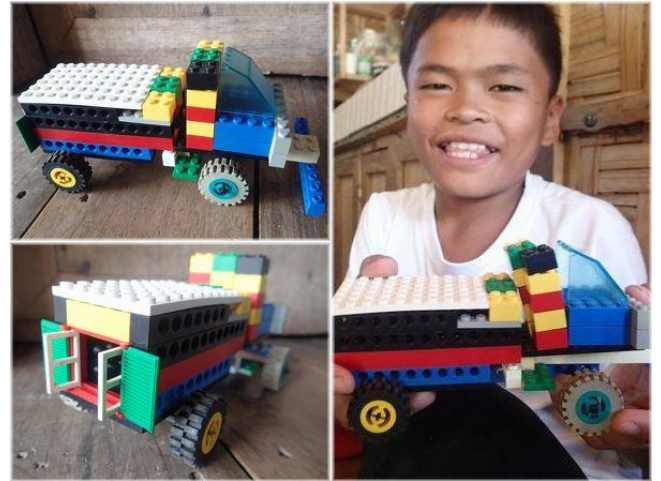


ロジャーは働き始めたマンゴー加工工場のクリスマスパーティーで、さっそくダンスコンテストに参加するそうです。夢の実現に向けての第一歩！これからも一緒に見守っていきましょう。

ホセのトラック

3月に入ってきたホセは、なかなか心を開かない子でした。こどもたちがボール遊びや鬼ごっこに誘ってもあまり反応せず、こちらから話しかけてもほとんど返事をしない日々が続きました。

ある日、こどもたちがみんなでレゴで遊んでいると、ホセが興味深そうに眺めていました。ジェレミーが「ホセもやる？」と言ってレゴを渡してやると、驚いたことにホセはあっという間にとても精巧なトラックを組立てました。周りの子たちもびっくり！「やったことあるの？」と聞きますが、ホセは首を横に振ります。初めての作品がこれってすごくないですか？（写真右）



レゴは一度壊さないと次にまた遊べないので、毎日壊すわけですが、ホセはその後毎日、トラックを作りました。しかもそのトラックはどんどん進化していき、ドアがついたり、バッテリーボックスがついたり、スペアタイヤがついたり、前輪がハンドル操作で動くようになったりと、より精巧になっていくのです。

「すごい！僕にも作って！私にも！」とみんながホセの周りに集まり、レゴを通してホセは他の子たちと遊ぶようになりました。それと同時に、ホセの作るトラックに変化が現れます。そう、人が乗るようになったのです。これまで「ひとり」だったホセが、「みんな」を意識するようになったのでしょう。



それからホセが他の子と海や川でも楽しく遊べるようになったのは言うまでもありません。大人に心を開かない傾向も、たくさんのビジターと遊ぶことでどんどんなくなっていき、今ではビジターに一番甘えたがる子の1人になりました。人に甘える経験が、ずっと足りなかったのを補うかのように…。

やっぱり車輪のついた乗り物が好きらしく、この作業用の一輪車はホセの夫のお気に入り。これで土やゴミを運ぶ作業なら何時間でも楽しそうにやりますし、仕事がなくてもこうやってちびっ子たちを乗せて敷地内を走り回っています。きっと日本にいたら確実に鉄道小僧になっていたでしょうね。

過去のデータが一切ないホセは、自分の家族のことや過去のことをまったく話さないんですが、こうやって遊んでいく中で、いつか自分の言葉で昔の話をしてくれるのではないかと思います。ホセの作るトラックの進化を見守りながら、ゆっくりと待ちたいと思います！

トピックス

ダバオ遠足



毎年恒例のダバオ遠足に今年も行ってきました！メンバーがずいぶん入れ替わったこともあって、「初ダバオ」の子が多くていつも以上の大盛り上がり！動物園、飛行場、ショッピングモール、そしてスイミングプールなどを巡って、ダバオ滞在を満喫しました。エスカレーターに興味を持ったマイケルが、ずーっと眺めていた表情は今でも忘れられません。本当にいい思い出ができました！

専門学生アナマリス&ジョイジョイ



18歳になって HOJ を卒業したアナマリスと、5歳から8歳の頃にかけて HOJ にいたジョイジョイが、高校を卒業し、ホテルやレストランで働くためお専門学校に入りました。2年で国内の一流ホテルやレストラン、3年で海外でも働ける資格が取れるそうです。客商売には見た目も重要ですから、まさにこの2人にはうってつけの進路ですよ。応援よろしくお願いします！

ようこそ3兄弟



HOJ にかわいい3人組がやってきました！バドン（6歳）、エミリー（4歳）、アルジェ（2歳）です。久々の幼児のかわいさにスタッフもビジターもメロメロです。まだ長期引き受けになるか、一時預かりになるかは未定ですが、HOJ にいる間に、たくさんの楽しい経験をさせてあげたいです！

ようこそエメル



数年前に一時預かりで入っていたエメルが、本格的に HOJ に入ってくることになりました。心優しい、文化系の男の子です。絵を描いたりアクセサリーを作ったりするのが大好きで、褒められた経験が少なかったからか、褒められて恥ずかしがる姿がとてもかわいいです。エメル、これからもよろしく！

風船の魔法使い、パルさん



バルーンアーティストの「パル」さんが HOJ に来てくれました。簡単な「犬」とか「花」はこれまでも作ってくれたビジターがいましたが、いくつもの風船を連ねてつくる「椰子の木に登る猿」や「イルカ」、そして「幸せの青い鳥」には子どもたちも驚嘆の声をあげていました。パルさん、ありがとうございました！

ジェレミーの歯



ジェレミーの前歯が抜けたっきりなかなか生えてきません。このまま生えてこないんじゃないかとみんなに脅されて心配していたジェレミーですが、半年ほどたって、やっと少しずつ生えてきました。もともとすぐ歯並びのいい子でしたからね、またきれいな歯で笑顔を見せてほしいと思います。まあ、このままでも逆にかわいいんですけどね。(笑

宇宙戦隊 NOIZ 奨学生



今年も日本のロックバンド、宇宙戦隊 NOIZ のみなさんのおかげで、近隣の小学生 16 名、中高生 37 名、大学生 11 名を学校に行かせてあげられることになりました！この子たちは、一緒に住める家族はいますが、経済的な理由で学校に通うのをあきらめかけていた子たちです。これこそまさにヒーローですね。NOIZ のみなさん、ありがとうございます！

こども同士はすぐに仲良し！



今年は例年以上に子連れでの滞在者が多くて、こどもたちが本当に喜んでます！言葉が通じなくても、ブランコや、トランプや、ボールや、海や、猫と一緒に遊ぶだけで、みんなすぐに仲良くなれるんです。お互いにとってかけがえのない経験だと思います。みなさん、子連れでの滞在、本当におすすめてですよ！

夜の漁



シャロームハウスに長期滞在していた HOJ の IT テクニシャン、アキオさんが「漁師体験がしてみたい」というので、地元漁師の夜の素潜り漁に参加させてもらうことにしました。3～4m ほど潜って、防水の懐中電灯で岩陰を照らして、眠っている魚を鉗で突く昔ながらの漁です。17 年住んでいる私にも初めての経験でした。みなさんいかがですか？

アヤカさんとアツシくん



サキさんの後を引きついで、2 人のボランティアスタッフが来てくれています。絵とギターが得意な「文化系お姉さん」アヤカさんと、スポーツ大好きな「体育会系お兄さん」のアツシくんです。ちびっ子の多い今の HOJ には二人とも欠かせない存在です。アヤカさん、アツシくん、これから半年、よろしくお願いします！



大同窓会

山口さん一家が来たことを機に、ダバオの烏山家にて、卒業生の大同窓会が行われました。父親となったジンバ、ララン、母親となったアンギン、マリテス、就職してがんばっているジョネル、ウィリアム、クリスティーナ、ロジャー、マッサージ師になったアナリン、大学で日本語を勉強中のレナリン、相変わらずのマディーとインダイガマイ、本当にたくさんの子が集まってくれました。久々に会えた子の近況も分かり、互いに元気でやっていることを確認しあってとても素敵な時間を過ごせました。年末年始にまた集まる約束をしたので、今から会うのが楽しみです！

ハウスオブジョイ日記

子どもたちを学校に通わせるためには、出生証明書などの公文書が必要です。春に HOJ に入ってきたジャンジャンとマイケルの出生証明書を役所に行って取って見たらびっくり！兄弟なのに、誕生日が 3 ヶ月しか違わないんです。そんなことってあり得ないですよね？

こんなふうになってしまう原因は「お母さんが満足に読み書きできない」ことです。フィリピンはかなり識字率の高い国なんですが、HOJ のような施設に入ってくる子どもの親には、やはり読み書きができない人の割合が高いんです。

ジャンジャンとマイケルの誕生日の話なら、まあ笑い話ですむんですが、中には笑い話では済まないケースもたくさんあります。



例えば、ロウィーは出生証明書と、小学校 1 年生のときの入学手続きのときと、3 年生で転校してきたときと、HOJ に入ってきたときで、それぞれ名前のスペリングが異なります。

そのせいで、「同一人物」だと認めてもらえず、危うく小学 5 年生から 6 年生に上がれないところでした。昔は学校や役所も、こういうスペリング間違いを「まあ、そういうこともあるよね」というて認めてくれたんですが、最近、教育改革でデータを電子化して中央管理するシステムが導入されたため、少しのミスで、学校に通えないケースが増えてきています。

HOJ には書類作成の専門家であるソーシャルワーカーがいるので、なんとか書類を整えて学校に通い続けられるようにしましたが、これが一般の、それこそ読み書きがあまりできない親だったらどうでしょうか？きっと子どもはそこで通学をあきらめてしまうでしょう。読み書きができない親の子どもが、また学校に通えなくなる、という、貧富の差が拡大していく連鎖が続いていくことになっていきます。これは、無視できない問題です。

「就学支援」とは、奨学金や学用品を出してあげることだけではありません。HOJ として、できることを模索していきたいと思います。

(澤村 信哉)

ハウスオブジョイ連絡先

House of Joy, Batobato, San Isidro,
Davao Oriental 8209 Philippines
携帯 : 63-903-184-6669 (澤村)
Email: hojoy2006@gmail.com (烏山)
sawamura@hoj.jp (澤村)

ダバオ事務局

149 Jasmin st, Barrio Pampanga, Donas Vil,
Davao city 8000 Philippines
TEL: 63-82-300-4256

支援団体

「歓びの家」(ハウスオブジョイ)を支える会
〒853-0005 五島市 末広町 3-6
TEL: 0959-72-7423 (中村)
代 表 下口 神父
事務局長 中村 真由美

ハウスオブジョイは皆さんの愛で支えられています。
今後もご支援をよろしくお願いいたします。

里親会員 : 年間 5 万円
(会員制度は目安です。金額は問いません)
口座名「歓びの家を支える会」
郵便振替 01730-6-44320

郵便局以外の金融機関・ATM からでも振り込めます。

173064320 伊サキワケン ト) 0044320
「ヨコビノエ」(ハウスオブジョイ)ササエカシ

ATM やインターネットで振り込みをされる方は、必ず
振り込んだ旨をご連絡ください。

ハウスオブジョイのホームページ
<http://hoj.jp>